

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3370500393		
法人名	有限会社 スマイル・タム		
事業所名	グループホーム 赤い屋根の家 2F花		
所在地	岡山県笠岡市吉浜2485-5		
自己評価作成日	令和元年9月20日	評価結果市町村受理日	令和 元年 11月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	広島県福山市平成台31-34
訪問調査日	令和元年10月16日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「みんな一緒に楽しい笑顔 ゆっくりのんびりと出来ることは自分らしく頑張ろう」という、生活に密着した理念を掲げ「悲しい時は一緒に悲しみ、嬉しい時には共に喜び、不安や寂しい時には傍に寄り添う」という手のひらのぬくもりを感じられる介護に取り組んでいる。  
入居者と家族の良きパートナーとなれるよう努力し、人生の最後に出会った人として「あなたに会えてよかった」と思えるような介護を目指している。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の敷地は幹線道路に面しているが、玄関のある西側は車の通行量が少なく、利用者の日々の散歩に便利である。また、リビングや居室からは土手の桜並木を眺めることもできる。優れている点は、理念を徹底し利用者が穏やかに暮らしていること、職員が生き生きと働いていること等がある。工夫点として、職員の意見を取り入れて階ごとにトイレ等の壁紙に変化を持たせていること、避難時に利用者がリビングからベランダに出る際、段差を解消するシートを敷いて車イスの人も通していること、さらに、窓側やトイレ近くにソファを置いて、ゆっくり景色をみたり、利用者の疲れを軽減していること等がある。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	食堂やトイレ等、目に入りやすい場所に理念を掲示し意識向上を図っている。	リビングや相談室など、目に入りやすい所に理念を掲示している。月に一度の全体会議やスタッフ会議でサービスの現状について議論することで、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設のデイサービスを通して地域との交流が来ている。	公園の草取りや地域の集会所の掃除に職員が参加している。デイサービスの行事である三味線・カラオケ等に参加し、地域と交流している。また、高校の実習生を受け入れたり、保育所とも相互に訪問して交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学生のいきいきチャレンジや高校生のインターンシップを毎年受け入れている。大学生のボランティアの受け入れも行った。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間行事や自主研修の報告をして地域の方々との意見を聞かせていただきサービス向上に活かしている。	長寿支援課、包括支援センター、地域の行政委員、民生委員、家族等が参加し2ヶ月に一度開催している。出された意見から、食事の様子を写真で家族に知らせたり、地域と一緒に避難訓練を実施したりすることでサービスの向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所の担当者の人とは些細な事でも相談にのってもらっている。何でも話し合える関係作りをしている。	管理者が窓口となり、定期的に連携して何でも話し合える関係を作っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の方の安全確保の為にどうしてもベッド柵が必要な人にはベッド柵に関する同意書を家族にもらっている。又、言葉掛けなども気をつけている。スイングアームを使用している利用者の方には身体拘束に関する経過記録を書き、夜間帯での使用の為眠ったら開ける等、気をつけている。身体拘束廃止委員会を毎月行って話し合いをし、身体拘束廃止に向けて努力している	利用者を最優先に考え、日常的に拘束の必要のないケアに努めている。やむを得ない場合は、事前に家族と丁寧に話し合うとともに毎月、拘束委員会と研修会を実施している。また、細やかな記録を残し、廃止の方向を導き出している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の芽チェックリストなどを使って高齢者虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	笠岡市/里庄町市民・町民後見人養成課程の実習生を受け入れこれから益々勉強していきたい。井笠いきいきネット専門職の勉強会にも参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年3回以上「スマイルメール」という新聞を発行し、ご家族にも送付している。又、毎月の請求書の中に一人ひとりの1ヶ月の様子、写真を入れて知らせている。玄関前・各フロアに意見箱を設置していろんな意見を取り入れようとしている。	家族とは面会や電話で、利用者とは日々のケアを通して傾聴に心がけ、意見を聞くようにしている。出された意見は、近くのスーパーに買い物に行ったり、面会時の歓談場所の選定などに活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	合同スタッフ会議を月に1回行い、親睦会も年2回位設けて職員の意見や提案を聞き入れている。	月に一度の合同会議や日々のミーティング、また懇親会等で意見を聞いている。出された意見は基本給のアップや有給休暇の消化などに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者はスタッフ会議に同席して、スタッフの意見・希望を聞き入れている。スタッフから退職金制度・年間休日等の要望があり前向きに検討し、実行されている。昨年度は基本給のupがなされた。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自分たちで年間研修計画を立てて研修の取り組みをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	笠岡市地域密着拠点推進会議に出席したり認知症多職種研修会・認知症サポーター養成講座・認知症キャラバンメイト養成講座に参加して他の施設の方と交流している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まず利用者の方が私達を信頼して下さるよう、ゆっくりスキンシップを取りながら、話を傾聴するように心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前調査時・入居日に時間を取り、ご家族との話し合いに努めている。又、電話でのやりとりも頻繁に行なうようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の話を真剣に傾聴して、ご家族の要望に応えられる支援を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物たたみ・新聞紙たたみなど、その人が出来ることを見つけ一緒にやっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の方の現状報告を常に行なって、ご家族の方をまきこんで一緒に考え、行動とれるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・本人の意向のもと、出来るだけ支援している。	頻度の差はあるが、家族や知人、かつての弟子等が面会に来ている。面会時等には関係の継続が出来るよう、丁寧に声をかけている。定期的に美容院に通っている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に発語練習をしたり歌ったりしている。利用者の方同士で漢字や数字のゲームをし、教え合ったりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後もお見舞いに行ったり季節事のハガキを出すなど努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	赤い屋根の家独自のアンケートや様子観察から入居者一人ひとりの思いを理解しコミュニケーションを大切に穏やかな対応をしている。	理念である「ゆっくりのんびりと 出来ることは自分らしく頑張ろう」を大切に、ゆとりを持ったケアに徹している。把握した思いや意向は飲酒やつまみ、食事の内容等に活かしている。困難な場合は、記録等により本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前・入居後において、ご家族の方と時間の許す限りゆっくり話し合い、その人の生活歴を聞くよう努めている。アセスメントに重点をおき、情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの思いを大切に個々の対応をしている。スタッフの休み明けの日には記録や他スタッフから現状報告を聞き、把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個々の入居者に合わせた支援を皆で考え、現状に即した介護計画を作成している。	ケアマネージャーの作成した案を基に、職員全員で検討して現状に即した計画を作成している。モニタリングはその都度、見直しは3ヶ月～6ヶ月としているが、必要時には柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を几帳面に記録し、又スタッフ同志の注意すべき事もノートに記録し、全員で共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	努力していきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医院との密な関係があり、いつでも相談に応じてもらえる。急変に対しては往診もしてもらえ、安心を得ている。	培った協力医との関係から、いつでも相談に応じて貰うことが出来、利用者・家族に医療面での安心感をもたらしている。歯科医から口腔ケアの指導を受けて職員が日々実施しているが、医師から直接ケアを受けている利用者もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員に一人ひとりの看護記録を作成してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会に行き担当の先生と連携を取るようになっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	2名の方の看取りをしていて本人とご家族の意思に出来るだけ添えるよう最善を尽くしている。	職員同士の支援体制が整い、経験の少ない職員も安心して取り組める組織となっている。終末期には、医師・家族・事業所が一体となって支援し、毎年、数人の看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ヒヤリハットを積極的に書き、原因と対応・今後の対策を検討し、問題発生防止に繋げていこうとしている。毎年、年1回消防の方から救命救急講座を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域住民の方や市の方も一緒に、夜間介護者1人を想定しての訓練・消火器の使い方を、地域の方と一緒に連携を取り、行った。	運営推進会議などの機会を利用し、行政や地域も参加して年に3回、避難訓練や救命講習を実施している。災害時には、事業所を避難場所として地域に開放している。	居室の家具等の固定、家具の上に置いてある物品について、より安全な対策を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの思いを理解し、排泄時の声かけはプライバシーを損ねないような気配りを持った声かけをしている。	利用者を傷つけない言葉遣いや排泄時のケアなど、一人ひとりを大切に、プライバシーにも配慮した対応をしている。	トイレに置いてある排泄記録やパット等の記名については、より細やかに配慮されることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は入居者が自由に思いを伝えたり感情を表したり出来る様に、一人ひとりの特徴やペースに合わせて優しく穏やかに接し、入居者の言葉や態度での訴えを見落とさず受け止めていく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	昼食場面ではゆっくりと味わって食べている方、早く済ませてソファーに移動する方、食事介助を必要とされる方などおられ、職員は入居者のペースに合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	スタッフがその人らしい髪型に整えている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器運びや、トレー拭き・テーブル拭きを出来る利用者の方には、やって頂いている。	地域からの差し入れやスーパーで買った食材を基に、3食とも職員が各ユニットのキッチンで手作りしている。利用者は、会話を楽しみながらほぼ完食している。また、盆拭きなど各自の出来ることを積極的にしている。毎月のおやつ作りは利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた食事作りをしている。嚥下状態に合わせて形態を工夫し食べやすくしている。水分補給には気をつけている。飲み込みの悪い方にはお茶ゼリーを作り水分の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全員、毎食後に口腔ケアを行っている。義歯は毎夕食後、流水で洗ってから洗浄剤を使用し、清潔を保っている。月に1回は歯科研修をして入れ歯の手入れの仕方、口腔ケアを学習している。自分の歯の方は週1で訪問歯科診療治療を行っている。その為口臭もなくなってきている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間のチェックをして、入居者一人ひとりの状況を把握し、誘導や動作の援助を行い、自立に向けた支援を行っている。	朝の体操で体を動かしたり、排泄記録に基づくきめ細やかな声かけをしたりすることで、昼間は全ての利用者がトイレで排泄している。夜間は、状況に応じて個別に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックも記録して一人ひとりの状態の把握に努めている。便秘の人には水分補給したり乳製品や食物繊維を食べていただき運動も心掛けている。Dr指示により3日目には必ず排便があるようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	バイタルチェック等で健康状態を確認し、本人の意思を確認してから入浴の可否を見極めている。便失禁があればシャワー浴をその都度行っている。	週に2~3回、午前中に入浴している。入る順番や湯温など、細やかな配慮により利用者はとても楽しみにしており、現在、嫌がる利用者は居ない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝寝・昼寝を日程としている。利用者の方には居室やソファ等、希望の場所で休憩して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は一日分を個人別に分けてケースに保管している。担当職員が一人ひとりに手渡し、飲み込みを確認している。又、薬の変更や新しく投与する際には、申し送り帳や薬袋等に記入し確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ等声掛けし、一緒に取り組む。又、塗り絵・新聞折りをする為の新聞集めを支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年の夏はものすごく暑かった為、外出は差し控えていたが、窓から見える無人野菜売場のスイカが目にとまり、スタッフと一緒に買いに行きおやつで食した。季節がよくなってきている今から、ドライブ・池の周りの散歩など考えている。	外出が難しい面もあるが、気候の良い時には目の前の池の周りを散歩したり、干拓地に花を見に行ったりもしている。家族と泊りがけで旅行に出かける利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の納得のもと、自分でお金を持っている方がおられる。たまに来られるお孫さんにおこずかいをあげている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人要望のもと家族にTELしたり手紙のやりとりの支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分の壁面に季節の飾りを手作りして飾っている。	共用空間は明るく、清掃が行き届き空気の淀みもない。階ごとに壁紙を変える等の変化も持たせている。利用者の作った紙の籠や塗り絵、職員が作った紙人形等が置かれ、和やかな空間を作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂・リビングにソファを置き、その時の気分で自由に座って過ごしてもらっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自分の家で使い慣れた家具(タンス)等があれば置いて頂いたり、TVを設置しのんびりと過ごしていただいている。	東側の居室は池や桜を、西側は住宅を見下ろすことが出来、部屋にいても四季の移ろいを感じることが出来る。ぬいぐるみやパーククラフト等を置き、それぞれが自分らしい生活を送っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の入口には写真と名前を掲げている。トイレは「トイレ」と書いて、風呂は字をかけている。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	居室の家具などの固定、家具の上に置いてある物品について、より安全な対策を期待します。	地震災害において、安全な対策をとる	居室のタンスの上には、物を置かないこととした。タンスの下には耐震マットを敷いた。	0か月
2	14	トイレに置いてある排泄記録やパット等の記名については、より細やかに配慮されることを期待します。	個人のプライバシーをしっかりと守る。	トイレに置いてある排泄記録は目のつかない場所にしまった。パット等の記名は部屋番号に変更した。	0か月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(3))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

特定非営利活動法人 あしすと

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他(これから、運営推進会議で報告し、家族に報告していく。 )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )